

モデル市町村での取組等を踏まえ、「構成」を見直し「項目」を精査した。また、記入の手間を減らせるよう一部の項目を「選択式」にした。

1	概要	依頼先機関の 対応報告・報 告先を記載	(★) 選択式
2	火山現象の状況		
①	時期		
②	場所		
③	避難に際して警戒すべき火山現象 (噴火により想定される火山現象)		
④	火山現象の状況	選択肢を精 査して追加	
⑤	時期による特性		
⑥	気象の状況		
⑦	予測される影響		
⑧	防災上の留意事項等		
3	避難の対象者・誘導方針	項目名、順番の精査	
①	避難誘導の方針		
②	避難対象地域・避難対象者 (★)	避難行動要支援者を 表の上位に記載、内 数表示ではなくした。	
③	避難対象者数		
④	避難誘導先		
⑤	避難行動要支援者への対応		
⑥	避難開始時期	項目名の精査	
⑦	避難完了日時(予定)	項目名の精査 避難対象者は住民のほか、 観光客や登山者が予想され るため、表現を見直した。	
4	関係機関の措置等		
①	措置の概要 (関係機関の措置及び職員の派遣先等)		
②	連絡調整先		
5	避難対象者の行動 (基本事項)		
①	避難対象者に求める対応 (★)		
②	避難手段 (★)		
③	避難時の留意事項		
④	残留者・行方不明者等への対応協力		
6	情報伝達		
①	避難実施要領の避難対象者への伝達方法 (★)		
②	避難実施要領の伝達先		
③	職員間の連絡手段		
④	協力会社・協定機関	項目の追加	
⑤	記者発表の対応	項目名の精査	
7	避難実施市町村の防災体制		
①	職員の動員体制		
②	災害対策本部		

赤字：第1回検討会以降に修正
紫字：第2回検討会以降に修正

モデル市町村での試行時 (※)

記載項目	記載事項
1 概要	①避難実施要領の概要
2 事態の状況、関係機関の措置	—
2-1 事態の状況	①発生時期 ②発生場所 ③事案の概要と被害状況 ④今後の予測・影響と措置 ⑤気象の状況 ⑥想定される火山現象 ⑦防災上の警戒事項等
2-2 避難住民の誘導の概要	①要避難地域 ②要避難者数(うち避難行動要支援者数) ③避難先 ④避難誘導の方針 ⑤要支援者への対応 ⑥避難開始時期 ⑦避難完了予定時期
2-3 関係機関の措置等	①措置の概要 (関係機関の措置及び職員の派遣先等) ②連絡調整先
3 事態の特性で留意すべき事項	①事態の特性 ②地域の特性 ③時期による特性
4 住民の行動 (基本事項)	①避難の指示を受けた場合の対応 ②避難手段 ③避難時留意事項 ④残留者・行方不明者等への対応
5 情報伝達	①避難実施要領の住民への伝達方法 ②避難実施要領の伝達先 ③職員間の連絡手段
6 緊急時の連絡先 (避難実施市町村)	①職員の動員体制 ②災害対策本部

※第1回検討会での委員のご意見を踏まえ見直しモデル市町村で試行

【市町村名】避難実施要領【火山名】		出典・参考	別添資料
発出日時：令和●年●月●日 ●時●分			
1 概要			
令和●年●月●日●時●分、●●山の噴火警戒レベルが、「●」に引き上げられたことを受け、●●市として避難対象地域内の住民等に対して避難勧告等を発令し、第●次避難対象エリア外への避難誘導を行う。 避難誘導に際しては、噴火に伴う火山現象の影響範囲内に立地する国道●●号線（●●～●●区間）を住民等が通行しないよう、防災無線、広報車、●●等を用いて呼びかける。 本要領に基づく活動の開始時、完了時には必ず、協力機関より所管課への実施報告を行う。 ・（機関名）_____は_____を開始、または完了した後、_____課へ報告 ・（機関名）_____は_____を開始、または完了した後、_____課へ報告			
2 火山現象の状況			
①時期	令和●年●月●日 ●時●分（気象庁により、噴火警戒レベル「●」に引上げ）		
②場所	火口の 特定前 ・ 特定後（火口の位置：●●●●）		
③避難に際して警戒すべき火山現象（噴火により想定される火山現象）	・避難に際して警戒すべき火山現象：●●●● ・噴火により想定される火山現象：●●●●、●●●●、●●●●、●●●●、●●●●		
④火山現象の状況			
⑤時期による特性			
⑥気象の状況	・風向●●● 風速●●m／s		
⑦予測される影響	・降灰の影響による風下側の視程の低下、積灰や、降灰影響域内での土石流の発生		
⑧防災上の留意事項等			
3 避難の対象者・誘導方針			
①避難誘導の方針	・降灰により通行支障を受ける避難経路に留意：国道●●号線、県道●●号線 ・避難対象地域内に、大規模事業所（就業者数●名規模）あり		
②避難対象地域・避難対象者	□避難対象地域：●●●●計画に定める、第●次避難対象エリア（別紙●参照） □避難対象者： ・避難行動要支援者： 避難（域外） ・ 避難（域内） ・ 避難準備 ・ 通常生活を継続 ・一般住民： 避難（域外） ・ 避難（域内） ・ 避難準備 ・ 通常生活を継続 ・観 光 客： 帰宅 ・ 避難（域内） ・ 特になし ・登 山 者： 下山 ・ 特になし		
③避難対象者数	□避難行動要支援者：●●●●名（別紙●参照） □一般住民：●●●●名（別紙●参照） ※上記の避難行動要支援者を除く □観 光 客：●●●●名（別紙●参照） □登 山 者：●●●●名（別紙●参照）		
④避難誘導先	□避難行動要支援者 ・自宅 →（徒歩）→一時集結地→（公用車）→福祉避難所 （別紙●参照） □一般住民 ・自宅 →（徒歩）→ 一時集結地 →（徒歩）→ 避難所（域内） （別紙●参照） ・避難所（域内） →（バス）→ 避難所（域外） （別紙●参照） □登山者・観光客 ・それぞれの手段により下山・帰宅		

⑤避難行動要支援者への対応	☐ 避難の呼びかけ（誰が）： 自主防災組織 ・ 町内会 ・ 民生委員 ・ 社会福祉協議会 ・ 市職員 ☐ 避難誘導手段（どうやって）：避難支援等関係者の乗用車 ・ 社会福祉協議会の車両 ・ 公用車 ☐ 避難先（どこに）：●●●●、●●●●、●●●●		
⑥避難開始時期	・ 発出日時を参照		
⑦避難完了日時（予定）	・ ●月●日●時までに避難所（域内）への避難を完了 （避難完了までの所要時間の目安：●時間（対象者への周知：●時間＋避難準備：●時間＋移動時間：●時間）） ※●●時の時点で、火山防災協議会内で状況を共有		
4 関係機関の措置等			
①措置の概要 (関係機関の措置及び職員の派遣先等)	☐ 一時集結地 施設名：●●● 開設主体：●●● 運営主体：●●● ※所管課：●●●課 ☐ 避難所（域内） 施設名：●●● 開設主体：●●● 運営主体：●●● ※所管課：●●●課 ☐ 避難所（域外） 施設名：●●● 開設主体：●●● 運営主体：●●● ※所管課：●●●課 ☐ 交通規制：国道●●号線 県道●●号線		
②連絡調整先	・ ●●●●計画に定める、関係機関緊急時連絡網（別紙●参照）		
5 避難対象者の行動（基本事項）			
①避難対象者に求める対応	☐ 自転車等の利用： 推奨する ・ 抑制する ・ 原則として禁止する ☐ 自家用車の利用： 推奨する ・ 抑制する ・ 原則として禁止する ☐ その他（防災備蓄品、常備薬、日用品等の携行・近隣への避難の呼びかけ・_____）		
②避難手段	☐ バス： 都道県を通じて要請（●●人程度の搬送） ・ 市町村より直接要請 ・ 要請しない ☐ タクシー： 都道県を通じて要請（避難行動要支援者●●人程度の搬送） ・ 市町村より直接要請 ・ 要請しない ☐ 公用車： 使用する（●台。避難行動要支援者の搬送要請時に限る） ・ 使用しない ☐ 自家用車： ●●方面●●台（駐車可能台数●●台）、●●方面●●台（駐車可能台数●●台） ・ 使用しない		
③避難時の留意事項	・ 域外避難開始後の住民等との連絡手段には、●●を用いる。（別紙●参照）		
④残留者・行方不明者等への対応協力	・ 避難支援等関係者（名簿保有団体）は、避難行動要支援者の確認にあたることを、●●課へ連絡する。（開始時・終了時）		
6 情報伝達			
①避難実施要領の住民等への伝達方法	☐ 避難行動要支援者：避難支援等関係者（名簿保有団体） ・ 民生委員 ☐ 一般住民：防災行政無線 ・ 広報車 ・ ホームページ ・ 防災メール ・ 緊急速報メール ・ 自主防災組織 ・ 消防団 ☐ 観光客：防災行政無線 ・ 広報車 ・ ホームページ ・ 防災メール・ 緊急速報メール ・ 事業者（●●●●） ☐ 登山者：警察（登山届に記載） ・ ホームページ ・ 防災メール ・ 緊急速報メール		
②避難実施要領の伝達先	火山防災協議会関係機関 ・ 観光協会 ・ その他（●●●●）		
③職員間の連絡手段			
④協力会社・協定機関			
⑤記者発表の対応			
7 避難実施市町村の防災体制			
①職員の動員体制	・ 噴火警戒レベル「●」の引上げに伴い、第●次非常配備体制に移行		
②災害対策本部	・ ●●●長を本部長とする災害対策本部を、本庁舎●●●に設置		